

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（※注意事項）

設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から13の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を（ ）内に記入しなさい。

問題1（異常気象時等における措置）

貨物自動車運送事業者は、異常気象その他の理由により輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、荷主に対する適切な指示その他輸送の安全を確保するために必要な措置を講じなければならない。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則）（ ）

問題2（名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。

（貨物自動車運送事業法）（ ）

問題3（報告書の提出）

事業者は、その使用する自動車について省令で定める事故があった場合には、30日以内に当該事故ごとに自動車事故報告書を当該自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局長を経由して厚生労働大臣に提出しなければならない。（自動車事故報告規則）

（ ）

問題4（運行管理規程）

一般貨物自動車運送事業者等は、運行管理者の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに自家用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題 5 (一般貨物自動車運送事業者による輸送の安全にかかわる情報の公表)

一般貨物自動車運送事業者は、国土交通省令で定めるところにより、輸送の効率化を確保するために講じた措置及び講じようとする措置その他の国土交通省令で定める輸送の効率化にかかわる情報を公表しなければならない。

(貨物自動車運送事業法)

()

問題 6 (整備管理者)

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両総重量八トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であつて国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

(道路運送車両法)

()

問題 7

この法律は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止し、事業支配力の過度の集中を防止して、結合、協定等の方法による生産、販売、価格、技術等の不当な制限その他一切の事業活動の不当な拘束を排除することにより、公正且つ自由な競争を促進し、事業者の創意を發揮させ、事業活動を盛んにし、雇傭及び国民実所得の水準を高め、以て、一般消費者の利益を確保するとともに、国民経済の民主的で健全な発達を促進することを目的とする。

(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題 8 (事故報告)

事業者は、自動車に積載されたコンテナが落下した場合、死者又は重傷者が生じていなくても自動車事故報告書を提出しなければならない。

(自動車事故報告規則)

()

問題 9 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 10 (有償運送)

自家用自動車は、いつでも有償で運送の用に供してもよい。(道路運送法)

()

問題 11 (運転者台帳)

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る前項の運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを1年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 12 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の休息期間については、当該自動車運転者の住所地以外の場所における休息期間が運転者の住居地における休息期間より長くなるように努めるものとする。

(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

()

問題 13 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかななければならない。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

Ⅱ. 次の問題 1 4 から 2 2 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 4 (事業改善の命令)

国土交通大臣が一般貨物自動車運送業の適性かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときに、事業者に対し、必要な措置を命ずることができる事項として、下記の中で誤っているものを 1 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結すること。
- イ. 自動車その他の輸送施設に関し改善措置を講ずること
- ウ. 事業計画を変更すること。
- エ. 代表者を変更させること

()

問題 1 5 (速報)

貨物自動車運送事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故があった場合には 2 4 時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないこととされている。次のア～ウについて、その速報対象となる事故として、正しいものには○を、誤っているものについては×を () 内に記入しなさい。(自動車事故報告規則)

- ア. 6 人の重傷者を生じた事故 ()
- イ. 2 人以上の死者を生じた事故 ()
- ウ. 酒気帯び運転に伴って発生した事故 ()

問題 1 6 (運賃及び料金の届出)

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定める運賃料金設定(変更)届出書を、提出期限までに提出しなければならないことになっています。届出書に記載すべき事項のうち誤っているものを次のア～オの中から 2 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

- ア. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
- イ. 荷主の名称
- ウ. 売上高
- エ. 事業の種別
- オ. 実施日

() ()

問題 17 (点呼等)

点呼の記録に記載すべき事項として、誤っているものを次のア～ウのうちから1つ選び()内に記入しなさい。

(貨物自動車輸送安全規則)

- ア. 点呼を受けていない運転者の氏名
- イ. 点呼の日時
- ウ. 点呼を行った者の氏名

()

問題 18 (届出)

次の届出のうち誤っているものを1つ選び()内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業法施行規則、貨物自動車運送事業報告規則)

- ア. 一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。
- イ. 運賃及び料金を定め又は変更したときは、運賃及び料金の設定又は変更後20日以内に、運賃料金設定(変更)届出書を所轄地方運輸局長又は国土交通大臣に提出しなければならない。
- ウ. 一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

()

問題 19 (運行管理者の業務)

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務について、運行管理者が行わなければならない事項の()にあてはまる語句を下のア～シの中から選び()内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ・貨物の(①)方法について、従業員に対する指導及び監督を行うこと。
- ・運転者台帳を作成し、(②)に備え置くこと。
- ・(③)を管理し、及びその記録を保存すること。

ア. 運行記録計	イ. 連絡	ウ. 自宅	エ. 選任	オ. 計算	カ. 営業所
キ. 対策	ク. 車庫	ケ. 自動車	コ. 健康	サ. ホームページ	シ. 積載

① () ② () ③ ()

問題 20 (郵便物等の運送)

次の条文中、(①) にあてはまる正しい語句を、ア～ウの中から選び
() 内に記入しなさい。

一般乗合旅客自動車運送事業者は、旅客の運送に付随して、少量の郵便物、
(①) その他の貨物を運送することができる。(道路運送法)

- ア. 電化製品
- イ. 医薬品
- ウ. 新聞紙

① ()

問題 21 (駐車及び停車を禁止する場所)

停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを2つ選び ()
内に記入しなさい。(道路交通法)

- ア. 道路のまがりかどから5メートル以内の部分
- イ. 自転車横断帯の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から10メ
ートル以内の部分(当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運
行時間中に限る)
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に5メートル以内の部分

() ()

問題 22 (掲示事項)

一般貨物自動車運送事業者が主たる事務所その他の営業所において公衆に見
やすいように掲示しなければならない事項として、次のア～ウのうち、該当す
るものに○を、そうでないものに×を () 内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運行管理者の氏名 ()
- イ. 運転者の氏名 ()
- ウ. 運送約款 ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（※注意事項）

設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題 1 から 13 の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
（ ）内に記入しなさい。

問題 1（異常気象時等における措置）

貨物自動車運送事業者は、異常気象その他の理由により輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、荷主に対する適切な指示その他輸送の安全を確保するために必要な措置を講じなければならない。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則第 11 条）

（ × ）

問題 2（名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。

（貨物自動車運送事業法第 27 条の 2）

（ ○ ）

問題 3（報告書の提出）

事業者は、その使用する自動車について省令で定める事故があった場合には、30 日以内に当該事故ごとに自動車事故報告書を当該自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局長を経由して厚生労働大臣に提出しなければならない。（自動車事故報告規則第 3 条）

（ × ）

問題 4（運行管理規程）

一般貨物自動車運送事業者等は、運行管理者の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに自家用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第 21 条）

（ × ）

問題 5 (一般貨物自動車運送事業者による輸送の安全にかかわる情報の公表)

一般貨物自動車運送事業者は、国土交通省令で定めるところにより、輸送の効率化を確保するために講じた措置及び講じようとする措置その他の国土交通省令で定める輸送の効率化にかかわる情報を公表しなければならない。

(貨物自動車運送事業法第 24 条の 3)

(×)

問題 6 (整備管理者)

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両総重量八トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であつて国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

(道路運送車両法第 50 条)

(○)

問題 7

この法律は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止し、事業支配力の過度の集中を防止して、結合、協定等の方法による生産、販売、価格、技術等の不当な制限その他一切の事業活動の不当な拘束を排除することにより、公正且つ自由な競争を促進し、事業者の創意を發揮させ、事業活動を盛んにし、雇傭及び国民実所得の水準を高め、以て、一般消費者の利益を確保するとともに、国民経済の民主的で健全な発達を促進することを目的とする。

(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第 1 条)

(○)

問題 8 (事故報告)

事業者は、自動車に積載されたコンテナが落下した場合、死者又は重傷者が生じていなくても自動車事故報告書を提出しなければならない。

(自動車事故報告規則第 2 条 6 号、第 3 条)

(○)

問題 9 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の3)

(○)

問題 10 (有償運送)

自家用自動車は、いつでも有償で運送の用に供してもよい。
(道路運送法第78条)

(×)

問題 11 (運転者台帳)

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る前項の運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを1年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の5第2項)

(×)

問題 12 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の休息期間については、当該自動車運転者の住所地以外の場所における休息期間が運転者の住居地における休息期間より長くなるように努めるものとする。

(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第4条第2項)

(×)

問題 13 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかななければならない。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第1項)

(○)

Ⅱ. 次の問題 1 4 から 2 2 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 4 (事業改善の命令)

国土交通大臣が一般貨物自動車運送業の適性かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときに、事業者に対し、必要な措置を命ずることができる事項として、下記の中で誤っているものを 1 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法第 2 6 条)

- ア. 貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結すること。
- イ. 自動車その他の輸送施設に関し改善措置を講ずること
- ウ. 事業計画を変更すること。
- エ. 代表者を変更させること

(エ)

問題 1 5 (速報)

貨物自動車運送事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故があった場合には 2 4 時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないこととされている。次のア～ウについて、その速報対象となる事故として、正しいものには○を、誤っているものについては×を () 内に記入しなさい。(自動車事故報告規則第 4 条)

- ア. 6 人の重傷者を生じた事故 (○)
- イ. 2 人以上の死者を生じた事故 (○)
- ウ. 酒気帯び運転に伴って発生した事故 (○)

問題 1 6 (運賃及び料金の届出)

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定める運賃料金設定(変更)届出書を、提出期限までに提出しなければならないことになっています。届出書に記載すべき事項のうち誤っているものを次のア～オの中から 2 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則第 2 条の 2)

- ア. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
- イ. 荷主の名称
- ウ. 売上高
- エ. 事業の種別
- オ. 実施日

(イ) (ウ)

問題 17 (点呼等)

点呼の記録に記載すべき事項として、誤っているものを次のア～ウのうちから1つ選び()内に記入しなさい。

(貨物自動車輸送安全規則第7条第5項)

- ア. 点呼を受けていない運転者の氏名
- イ. 点呼の日時
- ウ. 点呼を行った者の氏名

(ア)

問題 18 (届出)

次の届出のうち誤っているものを1つ選び()内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業法施行規則第44条第1号、第6号、貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

- ア. 一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。
- イ. 運賃及び料金を定め又は変更したときは、運賃及び料金の設定又は変更後20日以内に、運賃料金設定(変更)届出書を所轄地方運輸局長又は国土交通大臣に提出しなければならない。
- ウ. 一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

(イ)

問題 19 (運行管理者の業務)

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務について、運行管理者が行わなければならない事項の()にあてはまる語句を下のア～シの中から選び()内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条第1項第7号、第10号、第13号)

- ・貨物の(①)方法について、従業員に対する指導及び監督を行うこと。
- ・運転者台帳を作成し、(②)に備え置くこと。
- ・(③)を管理し、及びその記録を保存すること。

ア. 運行記録計	イ. 連絡	ウ. 自宅	エ. 選任	オ. 計算	カ. 営業所
キ. 対策	ク. 車庫	ケ. 自動車	コ. 健康	サ. ホームページ	シ. 積載

① (シ) ② (カ) ③ (ア)

問題 20 (郵便物等の運送)

次の条文中、(①) にあてはまる正しい語句を、ア～ウの中から選び () 内に記入しなさい。

一般乗合旅客自動車運送事業者は、旅客の運送に付随して、少量の郵便物、(①) その他の貨物を運送することができる。(道路運送法第82条)

- ア. 電化製品
- イ. 医薬品
- ウ. 新聞紙

① (ウ)

問題 21 (駐車及び停車を禁止する場所)

停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを2つ選び () 内に記入しなさい。(道路交通法第44条第2号、3号、5号、6号)

- ア. 道路のまがりかどから5メートル以内の部分
- イ. 自転車横断帯の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から10メートル以内の部分(当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に5メートル以内の部分

順不同 (ア) (ウ)

問題 22 (掲示事項)

一般貨物自動車運送事業者が主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない事項として、次のア～ウのうち、該当するものに○を、そうでないものに×を () 内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業法施行規則第13条)

- ア. 運行管理者の氏名 (×)
- イ. 運転者の氏名 (×)
- ウ. 運送約款 (○)